

住宅性能診断士 ホームズ君

すまいの

かんたんプレゼン



事例集（屋根入力）



母屋下がり



寄棟母屋下がり、切妻



入母屋

本マニュアルは、実例を通して屋根の入力方法を説明しています。

例題 1) 母屋下がり

例題 2) 寄棟母屋下がり、切妻

例題 3) 入母屋

INTEGRAL®

株式会社インテグラル

《目 次》

屋根入力にあたって..... 1

屋根入力の流れ（フローチャート） 2

1. 基本の入力手順（例題1：母屋下がり） 3

 STEP1 屋根面入力..... 3

 STEP2 登り方向 STEP3 勾配..... 4

 STEP4 軒出・ケラバ出 6

 STEP5 軒天仕様 6

2. 応用編（例題2：寄棟母屋下がり、切妻） 7

 2-1 1F切妻..... 7

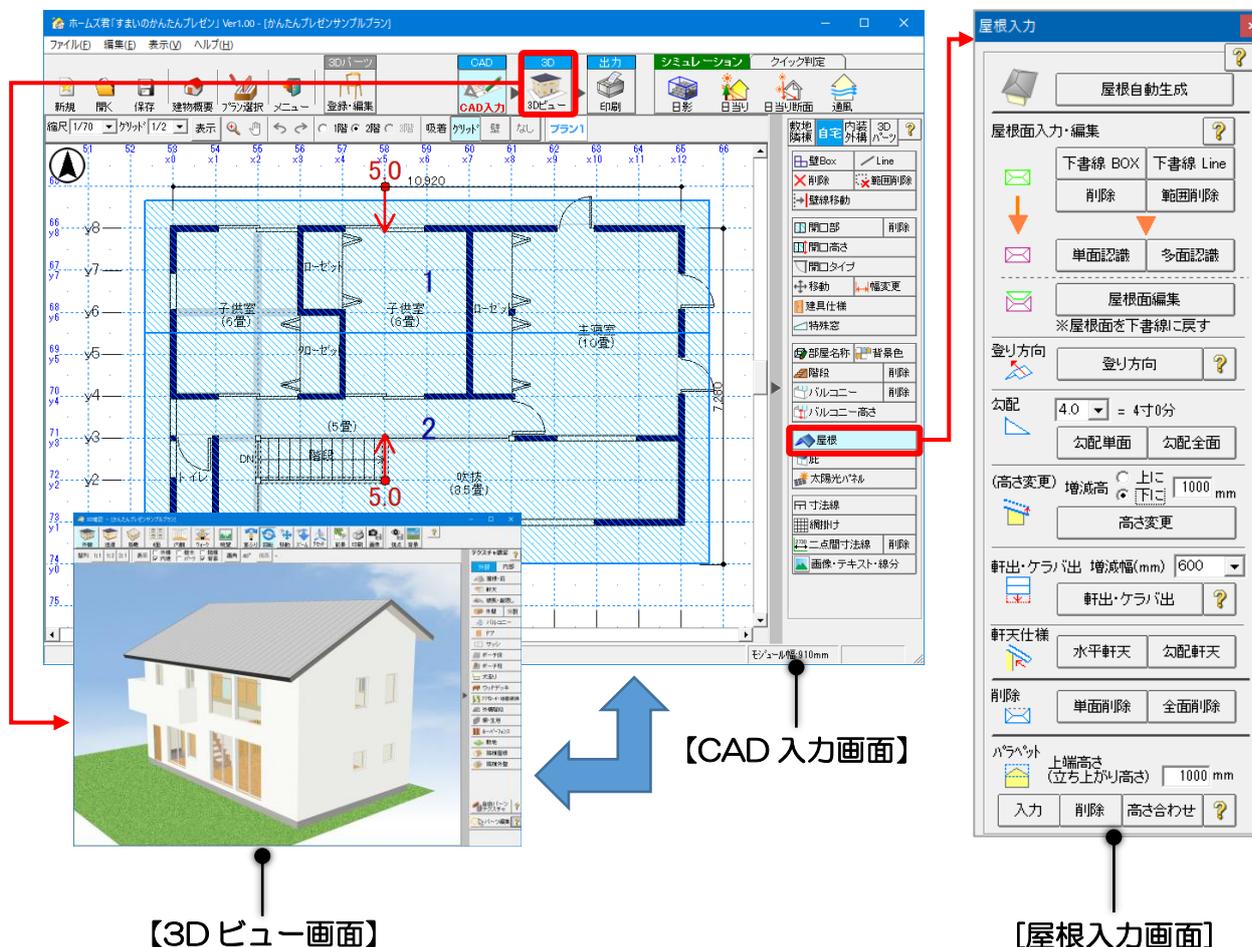
 2-2 2F寄棟..... 8

3. 応用編（例題3：入母屋） 9

 入力手順..... 9

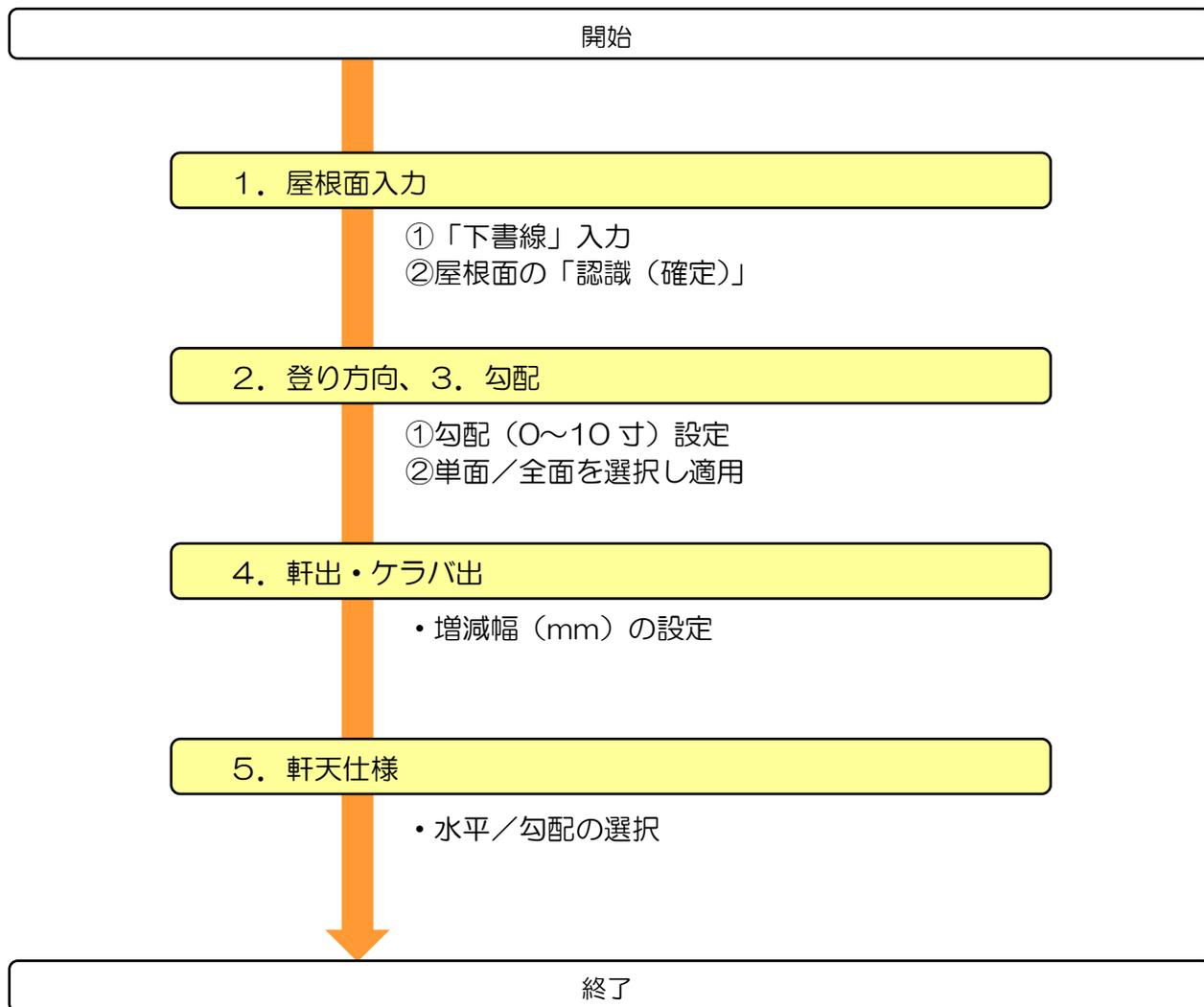
屋根入力にあたって

- ・ 切妻屋根の入力を行うと、妻壁が自動的に生成されます。
- ・ 屋根入力を行うと、【3Dビュー画面】にリアルタイムに反映されます。

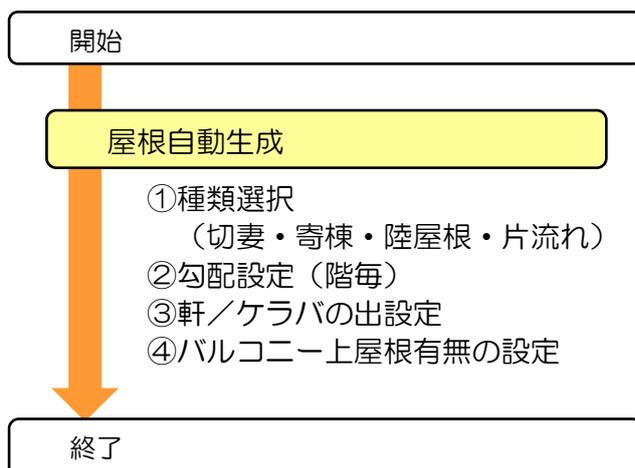


屋根入力の流れ（フローチャート）

手入力の流れ



自動生成の流れ



「屋根自動生成」では、外周を自動的に判断し、屋根を掛ける事ができます。

- ・切妻・寄棟を選択した場合、屋根面を自動的に分割して生成します。

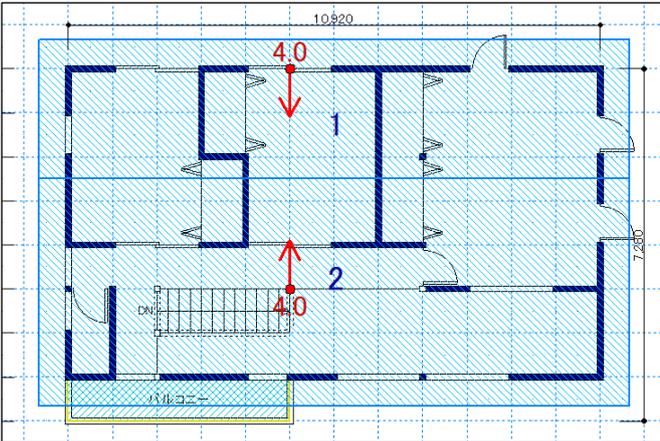
- ・自動生成した屋根を編集していくこともできます。

1. 基本の入力手順（例題 1：母屋下がり）

例題 1：母屋下がり

面積の異なる 2 面から構成される母屋下がりの屋根を入力します。
基本の屋根入力手順に加え、棟合わせを簡単に行う方法を紹介합니다。

母屋下がりの入力例【CAD 入力画面】



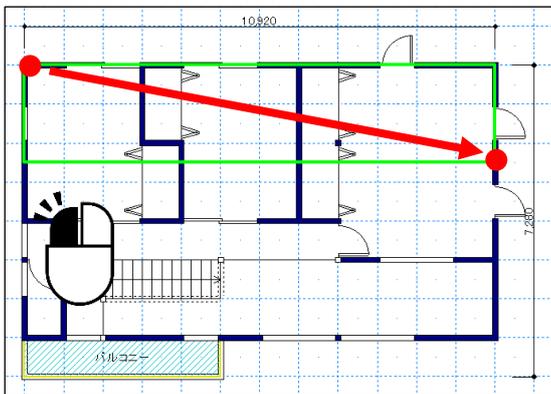
母屋下がりの完成イメージ【3D ビュー画面】



STEP1 屋根面入力



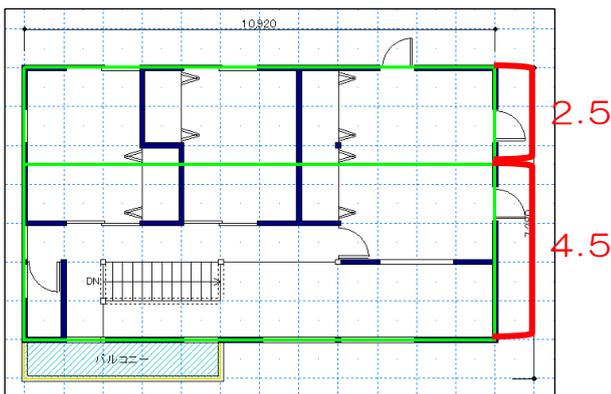
①屋根を架けたい階（2 階）を選択します。



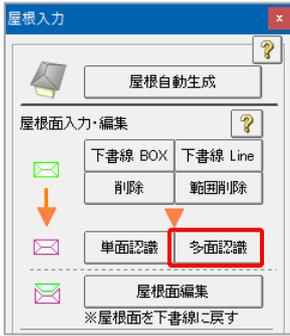
②「下書線 BOX」をクリックし、屋根面を BOX 入力（2 点クリック）します。下書線が緑線が表示されます。

※軒は考慮せず、外壁ぴったりに入力します。

• 多角形の場合は、「下書線 Line」で入力します。



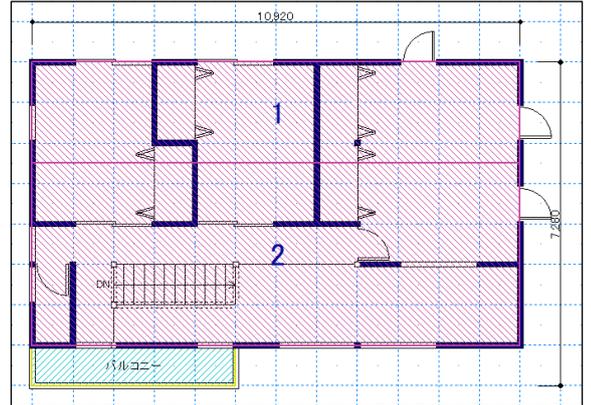
③もう一面も同様に BOX 入力します。



④「多面認識」をクリックします。
入力した下書き線が全て確定し、
通し番号が振られます。
(赤斜線表示されます)

• 以下、「屋根 1」「屋根 2」と
呼びます。

屋根面認識後【CAD 入力画面】



下書き線を削除したい時



①「削除」:

「削除」ボタンをクリックし、【CAD 入力画面】で下書き線を
なぞります。

②「範囲削除」:

「範囲削除」ボタンをクリックし、【CAD 入力画面】で下書き線
を含めるように BOX 入力 (2 点入力) します。

STEP2 登り方向
STEP3 勾配

例) 勾配が同じ場合の簡単な棟合わせ

屋根の勾配の方向および地回りレベルを決定します。
ここでは、勾配の設定と同時に、棟を合わせる方法を説明します。

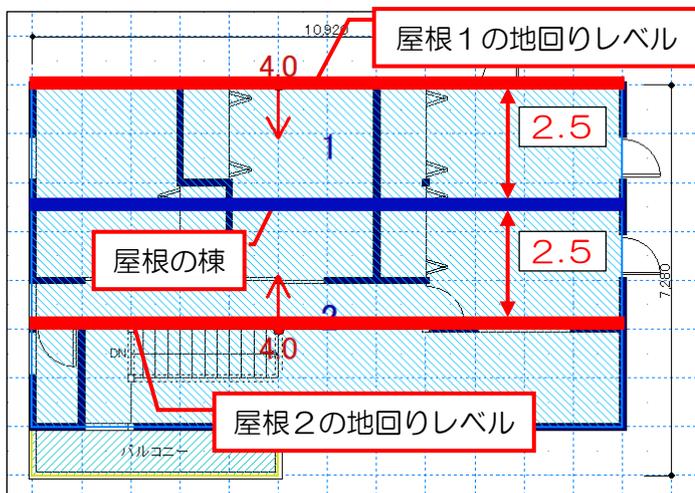


• 勾配 (共通):

① [屋根入力画面] で、勾配の値を選択します。
例: 「4.0」 (4 寸 0 分)

• 登り方向 (共通):

② 「登り方向」をクリックします。



※勾配設定を行うと、屋根面が青色斜線表示になります。

• 屋根 1 の登り方向設定

③ 【CAD 入力画面】で
1) 屋根 1 をクリック
2) 屋根 1 の端 (=地回りレベル) をクリック
3) 登り方向 (例: 下方向) に向かって
マウスカーソルを移動してクリック

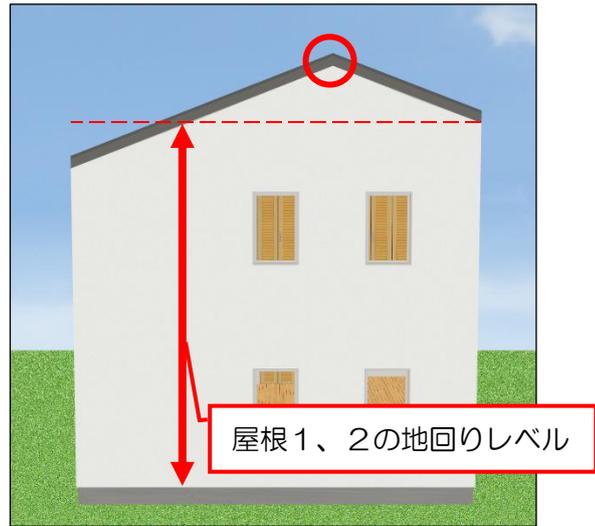
• 屋根 2 の登り方向 & 高さ設定

④ 【CAD 入力画面】で
1) 屋根 2 をクリック
2) 棟から屋根 1 の長さ分下がったところ
(=地回りレベル) をクリック
3) 登り方向 (例: 上方向) に向かって
マウスカーソルを移動してクリック

棟合わせのポイント

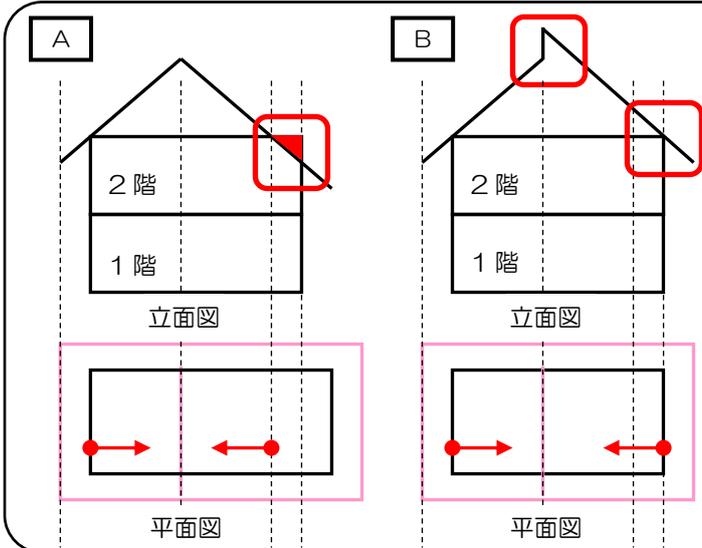
- 登り方向へのマウスカーソルの移動距離は勾配に影響しません。(向きのみ)
- 勾配の矢印の始点が地回りレベルになります。2 回目のクリック (= 始点) 位置に注意する事により、高さ変更が容易にできます。(屋根の勾配が同じ場合に有効です。)
- 勾配が異なる場合、「高さ変更による棟合わせ」を参考に、勾配設定後に高さ変更を行ってください。

勾配設定イメージ【3D ビュー画面】



勾配と同時に地回りレベルを設定し、棟合わせができました。

地回りレベルと屋根の架かり方

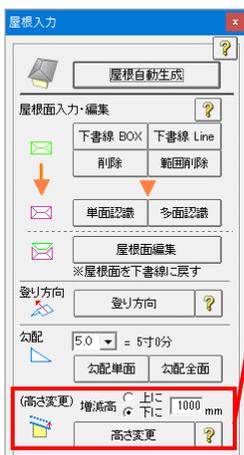


地回りレベルと屋根の架かり方は左図のようになります。

- [A] の場合
地回りレベルより右側については母屋下がりとなります。
- [B] の場合
地回りレベルから屋根の棟の位置までの距離が異なるため、棟の位置で屋根が一致しません。

高さ変更による棟合わせ

棟の位置が異なる場合は、以下のように「高さ変更」で棟合わせを行います。

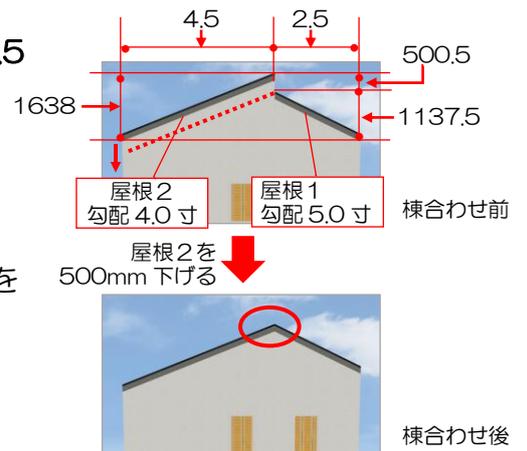


①屋根2の下げ分の計算：

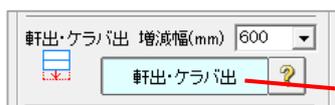
屋根1 高さ： $910(\text{グリッド幅}) \times 2.5(\text{グリッド数}) \times 5/10(\text{勾配}) = 1137.5(\text{mm})$
 屋根2 高さ： $910 \times 4.5 \times 4/10 = 1638$
 屋根2 の下げ分： $1638 - 1137.5 = 500.5$

②高さ変更：

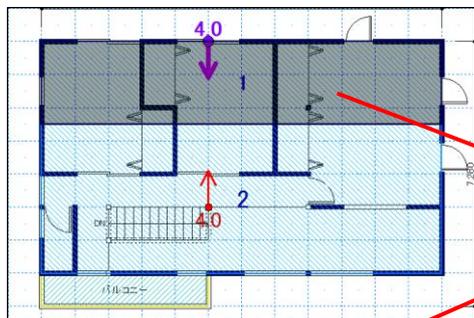
- 計算した屋根2の下げ分を入力します。
- 高さ変更「下に」「500」mm を入力し、「高さ変更」ボタンをクリックします
 - 【CAD 入力画面】で対象の屋根(屋根2)をクリックします。



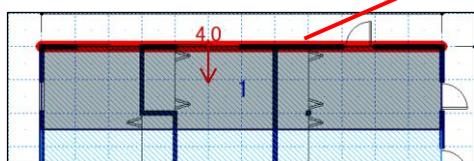
STEP4 軒出・ケラバ出



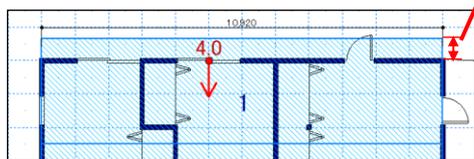
例) 屋根1の軒を600mm増やす



①[屋根入力画面]で、軒出・ケラバ出の増減幅を選択し、「軒出・ケラバ出」ボタンをクリックします。
※増減幅には、任意の数値を入力できます。
マイナス値の入力も可能です。

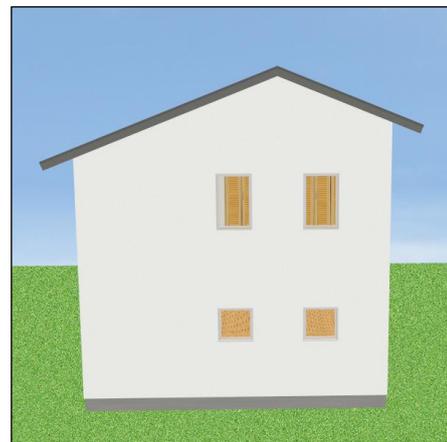


②【CAD入力画面】で屋根1をクリックします。
(黒ハイライト表示されます)



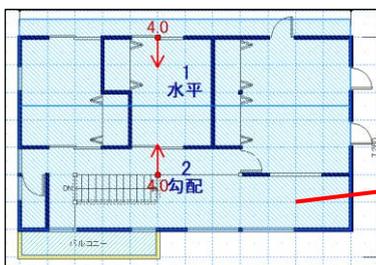
③軒をクリックします。
(軒・ケラバにマウスを重ねると赤色表示されます)

軒が600mm増えました。
他の軒・ケラバも同様に調整します。



軒出の調整イメージ【3Dビュー画面】

STEP5 軒天仕様



①[屋根入力画面]で、水平／勾配軒天のいずれかを選択します。

②【CAD入力画面】で、軒天を変更したい屋根をクリックします。

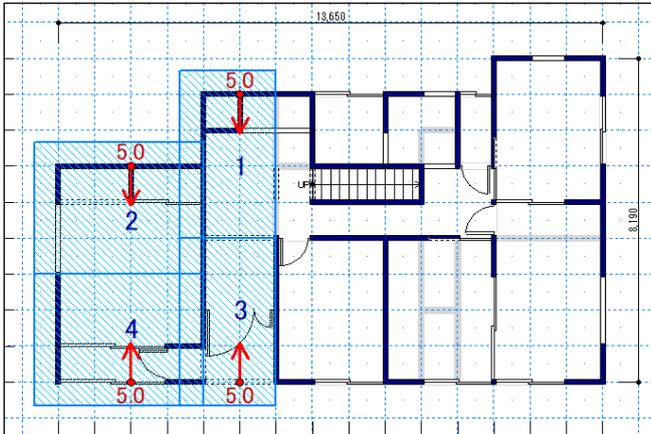
以上で母屋下がりの入力（例題1）は終了です。

2. 応用編（例題2：寄棟母屋下がり、切妻）

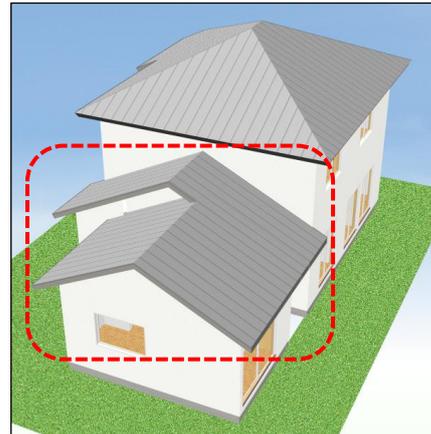
例題2：寄棟母屋下がり、切妻

寄棟と切妻からなる屋根を入力します。
寄棟の屋根面入力と、重なっている切妻の入力方法を説明します。

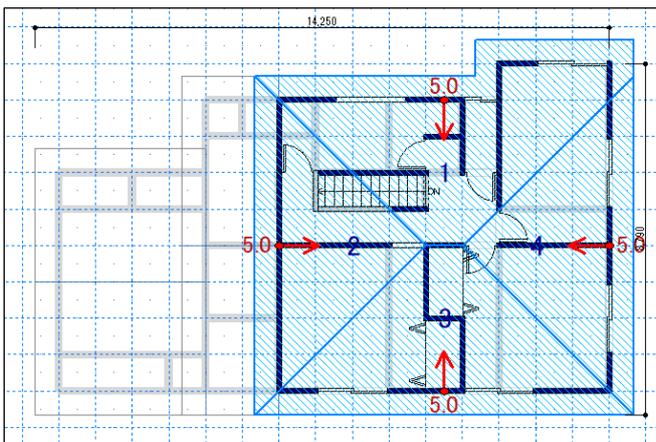
1F 切妻【CAD入力画面】



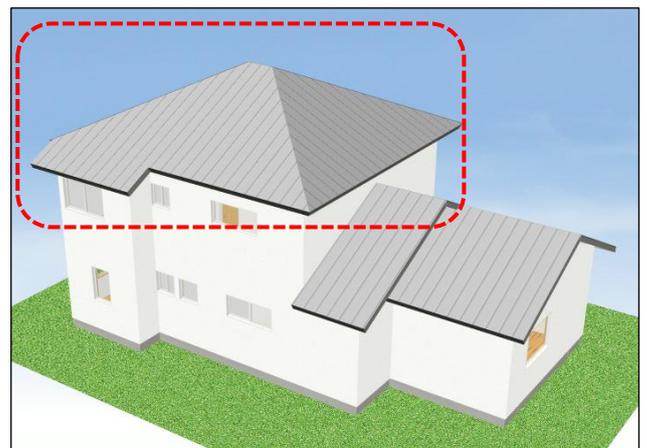
1F 切妻イメージ【3Dビュー画面】



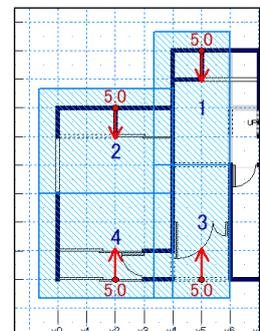
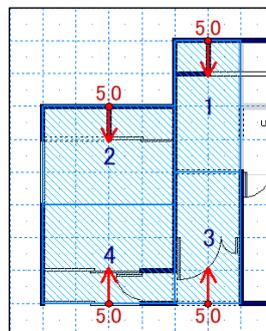
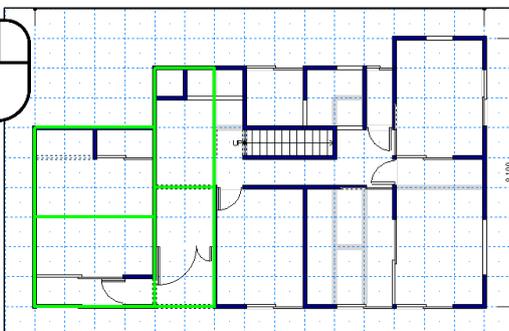
2F 寄棟【CAD入力画面】



2F 寄棟イメージ【3Dビュー画面】



2-1 1F 切妻



① [屋根入力画面]で「下書線BOX」ボタンをクリックします。
【CAD入力画面】で、1Fに屋根面を4面入力します。（緑線）
「多面認識」をクリックします。

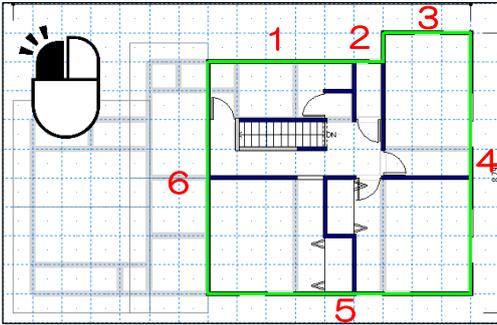
② 屋根4面それぞれの端から「登り方向」を入力します。（勾配5寸）

③ 「軒出・ケラバ出」を入力します。（+600mm）

1F 切妻の入力は以上です。

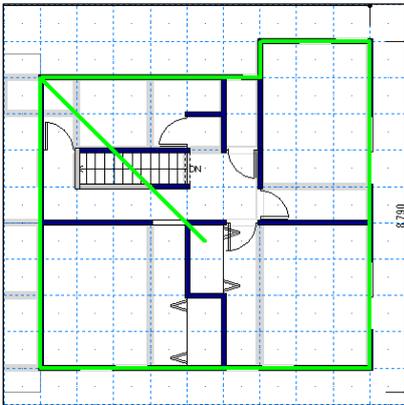
2-2 2F 寄棟

ここでは「下書線 Line」を使った、寄棟の屋根面入力を説明します。

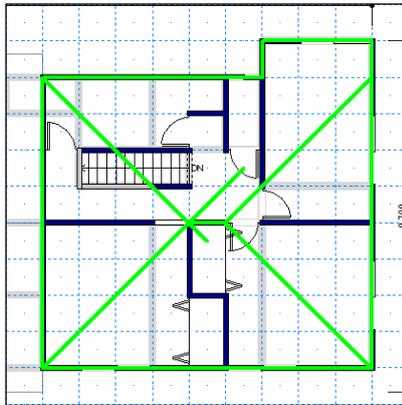


- ① [屋根入力画面]で「下書線 Line」ボタンをクリックします。
【CAD 入力画面】で、屋根の外周を、線として入力していきます。
(全部で6本)

対角線を1本入力したところ

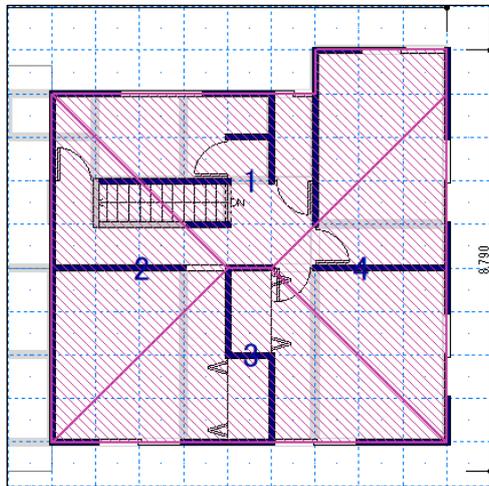


下書線を全て入力したところ



- ② 分割していきます。
対角線を入力し、最後に棟木の線を入力します。

・線ははみだしても OK です。

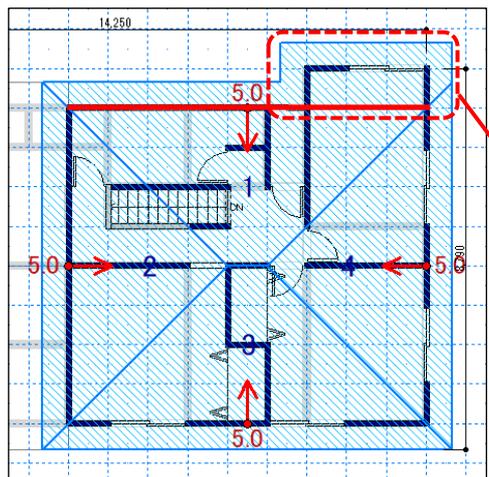


- ③ 下書線を確定します。
[屋根入力画面]で「多面認識」ボタンをクリックすると、屋根面が認識され通し番号が振られます。

・はみ出した線はカットされます。

下書線 Line 入力のポイント

・線は交差しない範囲で、はみ出して書いても OK です。



- ④ 勾配・登り方向の設定と、軒出・ケラバ出の調整を行います。
※詳細は「1. 基本の入力手順」を参照ください。

地回りよりも外側は
母屋下がりになります。

2F 寄棟の入力は以上です。

以上で寄棟・切妻の入力（例題2）は終了です。

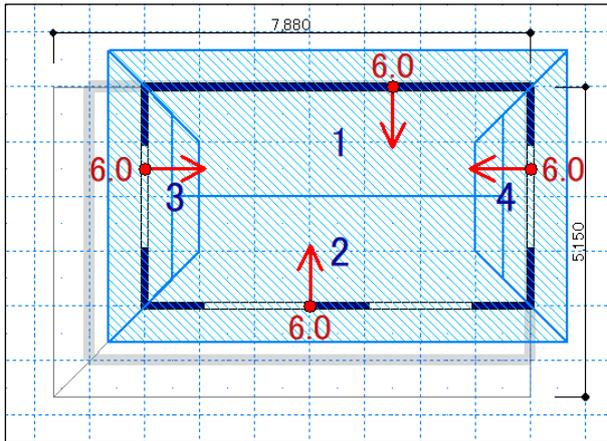
3. 応用編（例題3：入母屋）

例題3：入母屋

ここでは「下書線 Line」を使った、入母屋の屋根面入力を説明します。
なお、1階屋根の入力の説明は割愛しています。

完成イメージ

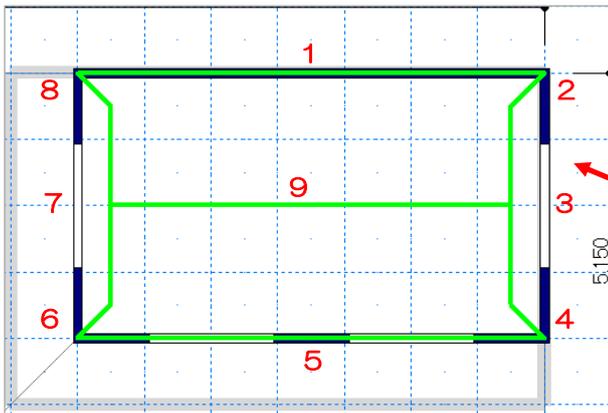
【CAD入力画面】（2F）



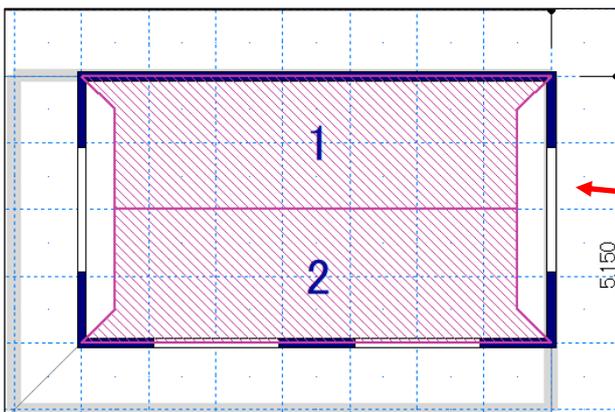
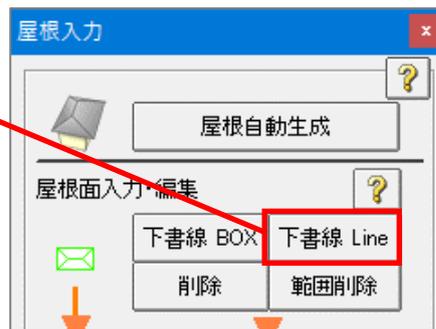
【3Dビュー画面】



入力手順

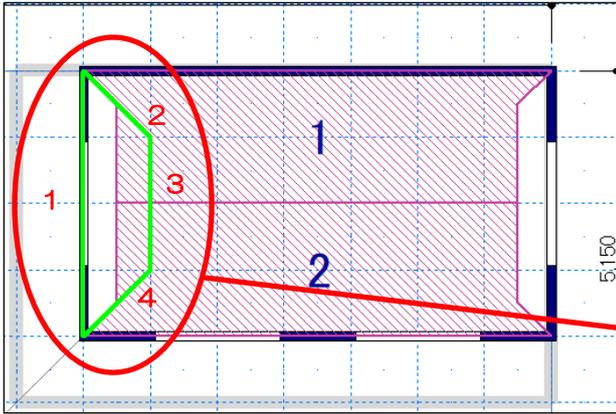


① 「下書線 Line」を使って、【CAD入力画面】で下書線を図のように入力します。



② [屋根入力画面]で「多面認識」ボタンをクリックします。屋根面1、2が認識されます。

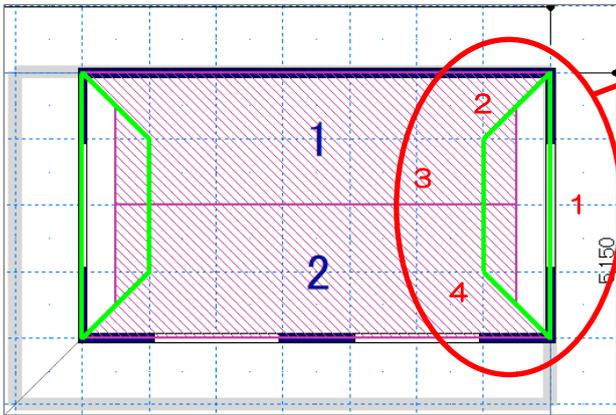
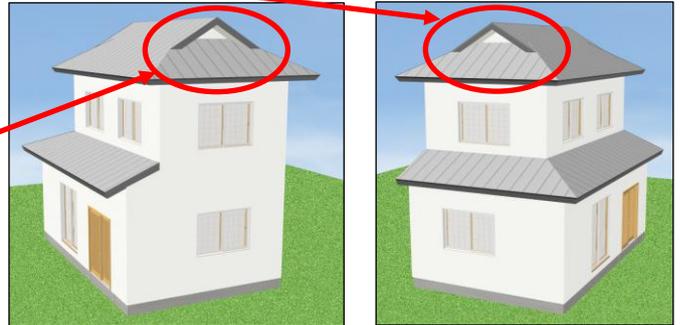




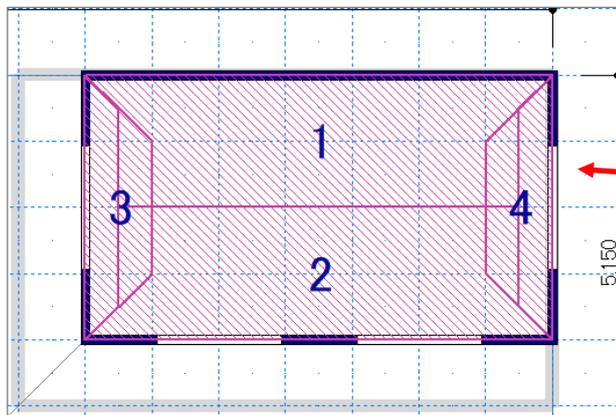
③さらに【CAD 入力画面】で、図のように下書線を Line 入力します。
右側も同様に入力します。

💡 入力のポイント

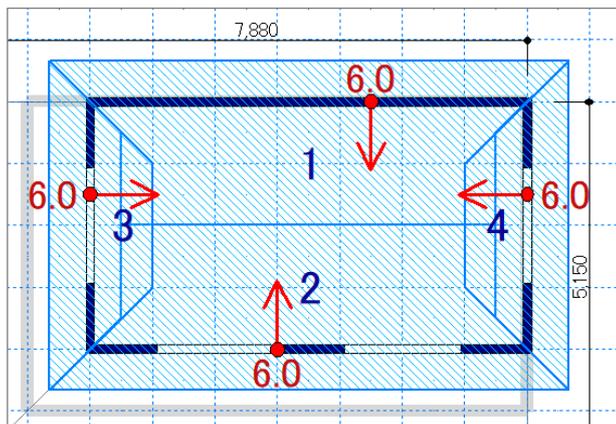
ここでの入力が入母屋部分になります。



④ [屋根入力画面] で「多面認識」ボタンをクリックします。屋根面 3、4 が認識されます。



⑤勾配、登り方向の設定と、軒出の調整を行います。
※詳細は「1. 基本の入力手順」を参照ください。



完成イメージ



以上で入母屋の入力（例題3）は終了です。

■ユーザーサポート

お問い合わせ先：ホームズ君サポートセンター

サービス時間：【平日】 10:00～12:00、13:00～17:00

メールアドレス：homes-support@integral.co.jp

電話番号：050-3104-6477

FAX番号：029-850-3334

※お問い合わせ前に、サポートページ(<https://www.homeskun-f.com/support/>)、
ホームズ君FAQ(<https://faq.homeskun.jp/>) もご参照ください。

■ホームズ君マイページ (<https://mypage.homeskun.jp/auth/login>)

▼ホームズ君シリーズのユーザー様全員が利用可能です。

▼できること

- ・お客様の登録情報の確認、変更
- ・ホームズ君シリーズの購入履歴・シリアル番号の確認
- ・最新の更新プログラムの確認およびダウンロード※
- ・「ホームズ君すまいの安心フォーラム」会員専用コンテンツの閲覧※
※「ホームズ君すまいの安心フォーラム」へのご入会が必要です。
(年会費¥40,000 [税別])

住宅性能診断士ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」 操作マニュアル

2019年 5月20日 初版発行

2025年 2月 7日 第5版発行

著作/発行 株式会社インテグラル

茨城県つくば市学園南2丁目7番地

TEL:029-850-3331

FAX:029-850-3334

<https://www.integral.co.jp/>

無断転載を禁ず